

<p>当院は下記研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを望まない場合は、下記の問い合わせ先にお問合せください。</p>	
研究番号	22-15
研究課題名	転移性脊椎腫瘍に対する治療内容とその転帰
当院の研究責任者（所属）	吉本昌人（整形外科 医師）
他の研究機関及び各施設の 研究責任者	なし
研究の目的	<p>転移性骨腫瘍は、進行期において疼痛や病的骨折といった ADL 障害の原因となり、がん患者の QOL 低下をもたらす大きな要因の 1 つです。脊椎は転移性骨腫瘍の好発部位であり、悪性腫瘍患者の 2.5%～10%に症候性の転移性脊椎腫瘍が認められます。疼痛や脊髄圧迫に伴う四肢麻痺症状は QOL の著しい低下をもたらします。原疾患の全身治療が優先されますが、脊椎転移腫瘍に対する外科的治療は重要性が増してきています。しかし、外科的治療はあくまで姑息的な治療であり、その適応について明確な指針はなく、またその効果についても明確なエビデンスは出ていません。本研究は、労災病院病職歴調査データを用い、転移性脊椎腫瘍症例における臨床情報・治療内容・合併症を調査し、その転帰及び復職といった ADL の変化を調査することを目的とします。</p>
調査データの該当期間	1984 年～2023 年 3 月 31 日
実施期間	2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までの 2 年間
研究の方法（対象となる方）	1984 年 1 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日に労災病院患者病職歴調査データベースに登録された脊椎転移症例
試料/情報の他機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	データは匿名化し、登録番号で管理し、その閲覧はパスワードを使用します。研究成果は学会・論文での発表を予定しますが、その際も個人が特定できるような情報開示は行いません。
本研究の資金源	労働者健康安全機構 病院機能向上研究費
お問い合わせ先	九州労災病院 整形外科 吉本昌人 TEL 093-471-1121
備考	